



○ 笠間稲荷門前通り整備計画検討協議会の設置

笠間稲荷門前通りの将来目指すべき道づくりを検討するため、地区関係者(地元関係区長、笠間市商工会・TMO、地元商店街、笠間稲荷神社)の主体的な討議を通じた意見を求めることを目的として設置し、7月1日に第1回の会合を開きました。

○ まちづくり意見交換会の開催

笠間稲荷門前通り周辺にお住まいのみなさんに整備計画の検討状況をお知らせするとともに、計画案等に対してご意見をうかがう場となります。今年度は、3回程度開催する予定です。



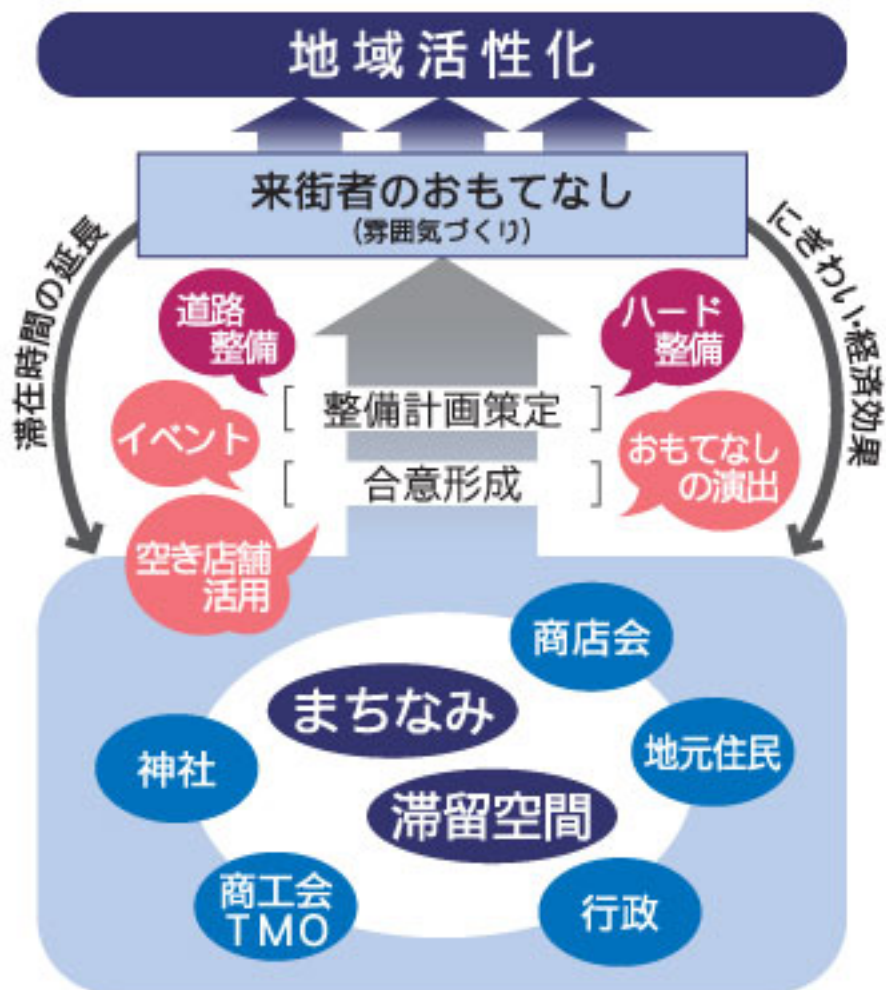
第1回 整備計画検討協議会の様子

○ 社会実験の実施

住民のみなさんとともに検討する具体的な整備案について、実際に整備された場合の問題・課題等の把握・検証を行うため、笠間稲荷神社で開かれる菊まつり期間中に、1週間程度社会実験を実施します。

「笠間稲荷門前通り」整備計画の策定

→ まちの賑わい創出を目指した取り組みを進めていきます！



今後の予定

- 8月 検討協議会
- 9月 意見交換会
検討協議会
- 10月 社会実験の準備
- 11月 社会実験
検討協議会
- 12月 意見交換会
- 1月 検討協議会
- 2月 意見交換会
- 3月 整備計画策定

「笠間稲荷門前通り」まちづくりニュース

笠 間市では、市内最大の観光拠点「笠間稲荷神社」の門前通りを魅力的な通りにし、多くの観光客で賑わう、活気あるまちづくりを進めるため、「来街者をおもてなしする雰囲気づくり」に取り組んでいます。

この「まちづくりニュース」は、昨年度からの門前通りの整備に関する取り組みの様子をお伝えするために、地域の方にお届け(2回発行)しましたが、今年度からは、より多くの方にお伝えするため、範囲を広げてお届けすることになりました。

地域のみなさんと一緒に、多くの情報を共有しながら、「笠間稲荷門前通り」のまちづくり・道づくりに取り組んでいきますので、ご協力をお願いします。



昭和20年代の賑わい



現在の笠間稲荷門前通り

Contents (目次)

- 特集その1 笠間稲荷門前通りが目標とするまちづくり…… P.2
- 特集その2 社会実験のようす…………… P.3
- 特集その3 今年度の取り組み…………… P.4



笠間稲荷門前通りが目標とするまちづくり

笠 間市の観光の核である「笠間稲荷神社周辺地域」においては、商店街の活性化に向けて、TMO（中心市街地における商業まちづくりを運営・管理する機関）や商店街、行政が連携し、地域特性を活かして“おもてなし”する雰囲気づくりを進めるための取り組みを行っています。

「笠間稲荷門前通り」についても、持続的な観光拠点として、まちの特性を活かしつつ、景観づくりを意識したまちづくりを検討しています。

来街者の行動は、歩く・見る・休むが基本です。道が歩きやすく、沿道に楽しく見るものがあり、自由に一休みできるスペースがたくさんあるまちが、居心地の良い、魅力的なまちとなります。ひとが主役になれる、歩いて楽しい道づくりが重要です。



車の通行もできるが、ひと優先に作られた道路
見て楽しい魅力的な店舗の前には、
自由に休めるベンチ



車道と歩道の上にベンチ・植栽等が設けられているため、
歩行者は車を気にせず歩いたり、一休みしたりできます。



目指すのは
「ひとが安心して、楽しく歩ける道」



そのためには…

- ひとが安心して、楽しく歩ける道にするためには、歩道を広くする必要があります。
- 現在の道路幅のなかで歩道を広くするためには、どうしたら良いでしょうか？

⇒一方通行などの交通規制の導入で可能になります！

社会実験（平成22年3月実施）のようす



- 実施箇所 笠間稲荷門前通り（約300m）
- 実施期間 3月25日（木）～3月29日（月）
- 規制時間 午前9時～午後5時
- 規制内容 高橋町交差点から
佐白山方面への一方通行



- 歩行空間の確保：竹筒を利用して、両側に広い歩行空間を確保しました。
- 広がった歩道にベンチなどを配置しました。
- 通過車両の速度抑制のため、車道に狭い部分を設けました。

良かった点

- ひとが歩道部に滞留するようになり、そのため店舗の奥まで入ってくれた。
- 全体的にひとがゆっくり歩いて店を眺める風景が見られた。
- ベビーカーや車椅子の方が広い歩道に喜んでいました。
- 通常より若い方が多く、幼い子供を連れた家族や若い女性なども多かった。

反省点

- 事前PRや準備に、もっと時間を掛けて実施できれば良かった。
- 今回とは反対の方向からの一方通行も、試してみても良いのでは。
- 荷卸しのスペースが、いくつかあった方が良い。
- 安全な通りにするため、自転車の通行方法をどのようにするのか、もっと検討した方が良い。



歩くところを広くして、楽しく歩ける道を作るための「一方通行」での実験です。

